

初:取材特集!

マネージャーの永利です!今回は、【初】の取材特集ということで、お客様の取材に行ってきました!
(有)サカノ様は、直近の再構築補助金を活用し設備投資を行った事業者様です。金属加工業界全体で景気が落ち込んでいる中、大規模な設備投資に舵を切った理由や、サカノ様ならではの工夫が垣間見れます!やはり最近のトレンドは従業員ファーストな会社ですね!



取材特集:(有)サカノ様



社長のドヤ顔

永利:事業再構築補助金の採択おめでとうございます!無事採択されましたが、設備投資に踏み切ったきっかけは何ですか?

坂野社長:昨今の景気は厳しい状況が続いていますが、現場で頑張ってくれている従業員も育ってきて、私自身自由に使える時間が多くなりました。その時間を使い、業務の効率化・新規参入なども視野に入れており、今回の設備投資に踏み切りました。自由に使えるようになった時間を活用して、設備投資以外にもSBT認証取得をはじめ、脱炭素経営などに関しても力を入れています。

永利:なるほど。いろいろな取り組みを始められているんですね!そのような取り組みに踏み切るきっかけとしては、従業員の人材育成が大きかったということなののでしょうか?

坂野社長:そうですね。人材育成には時間をかけました。5年ほど育成をして成長した、今季8年目となる従業員を中心として5名の従業員に支えられています。直近も3名入社したので、さらなる従業員教育に取り組みたいと考えています!

永利:坂野社長が人材育成や業務において大切にしていることは何ですか?

坂野社長:お客様に喜んでもらうことが軸になっているかなと思います。お客様の立場になって考えて、良い関係性を築くことを大切にしています。社内では、従業員ファーストで仕事を行うようにしています。

製造業は良いことの積み重ねでできていると思うので!

永利:とても素敵なお考えですね!それでは最後に今後の展望をお聞かせ願えますでしょうか?

坂野社長:数字を追いかけすぎずに、着々と一つ一つ今大切なことを継続させていくようにしたいですね。従業員ファーストを貫きながら、人材・設備投資を進めていきたいです!



ぎこちないキュンで
お出迎えします!

会社名:有限会社サカノ

所在地:大阪府大阪市港区南市岡1丁目2番14号

電話番号:06-6582-6103

メール:info@yugen-sakano.com

会社HP →



公式LINEにて情報を発信中

友達登録お待ちしております!!

ゼロプラス 公式LINE

- ・補助金や助成金情報
- ・脱炭素情報
- ・ゼロプラスからのお知らせなど



大場社長 公式LINE

外部環境の変化や他社の取組
など、経営に役立つ最新情報



当社HP		Youtube		CO2比較.com		Instagram		公式LINE	
ゼロプラスの歴史や事業内容についてチェック		当社の会社紹介や脱炭素セミナーの様子をチェック		脱炭素の情報はこちらをチェック		Instagram始めました！		補助金・脱炭素などのお役立ち情報を配信！	ゼロプラス公式  大場社長公式 

問い合わせ先
〒 664-0858
兵庫県伊丹市西台1-5-7 2F
TEL 072-764-5340
FAX 03-6800-5265
Mail info@zero-plus-consul.co.jp

初：取材特集

脱炭素事業担当の尾崎です。

(株)NRC様は、取引先様からのSBT取得要請があり、弊社のSBT申請支援サービスを利用して頂いた事業者様です。脱炭素(SBTやCO2排出量削減など)の要請はどのように到来したのか、要請には基本対応していく方針を打ち出しているのは何故か？このあたり取材してきました。



第5回脱炭素EXPO[秋]に出展します！

幕張メッセで2024年10月2日(水)～10月4日(金)に実施される展示会です。最新の脱炭素情報が集まりますので是非お越しください！！



取材特集：(株)NRC様



会社名：株式会社NRC
所在地：広島県尾道市高須町410
電話番号：0848-20-2590
メール：honsha@nrc-japan.co.jp



会社HP →

尾崎：この度は、弊社HPから問合せ頂きSBTの申請支援サービスをご利用くださいまして本当にありがとうございました！脱炭素の流れは中小企業まで降りてきていない状況の中、問合せ頂いた時は正直驚きました。取引先様からはどのような要請があったのですか？

松本様：弊社は、医薬品などのパッケージを製造しており、取引先様は外資系企業が多いです。外資系企業からの要請には今までも最優先で対応してきました。取引先様からは、SBT認証取得のお願いといったカタチで要請が来しました。

尾崎：やはり国内企業と違って大手外資系企業は取組と要請が早いですね。

松本様：特に外資系企業の中でも医薬品関係は特に早いと思います。SBT取得完了の報告をしたところ、次はEcoVadisの取得のお願いをされています。こちらは、SBTよりかなり大変なので社内ですらスタートさせるか検討中です。

尾崎：「お願い」となっているのですが、即対応案件なのですね。

松本様：外資系企業は、日本のような商習慣が無いので、お願い＝要請と捉え、即対応を心掛けています。未対応によって今後の発注が止まってしまえば、とても困りますので。遅かれ早かれこの脱炭素は進めなきゃいけないことでもあるので、前向きに検討・計画をしています。

尾崎：要請を前向きに捉えるのはとても素晴らしいですね！要請以外にも脱炭素の取組を進める予定なのですか？

松本様：年間予算を決めて、再エネ(太陽光の設置・EVの導入)、省エネ(設備の導入)などを進める予定です。認証取得後は、CO2低減活動も必ず要請ありそうですし、早い段階から進めようと思っています。

代表から一言

暑い夏

暑いですね。もちろん夏は暑いものですが、40年前の私が子供のころと比べてもさらに暑くなった気がします。夏休みは朝から晩まで、外で虫とりや魚つりをしまくっていた記憶がありますが、記憶が改変されていることもあります。そこで気象庁のデータベースから大阪の8月最高気温を調べてみました。1980年～89年の最高気温平均は32.9度。2023年8月は35.2度。2024年8月は35.9度。やはり約3度気温が上昇しています。多くの人々が気温上昇になんとなく危機感を感じつつあり、そしてなんとなく環境に優しい商品を選ぶという消費行動が目立つようになってきました。こうした消費者の変化に応えるために、大手企業は環境に配慮した経営を強く推し進めています。大企業の変化はサプライチェーンを通じて我々中小企業へプレッシャーが掛かってきています。こうした大きな環境変化を的確にとらえて、経営を変化させていく必要があります。



大場 正樹



株式会社 ゼロプラス
ZEROPLUS Co., Ltd